

日本企画計画学会第27回全国大会

第13版 2016年8月24日

テ - マ	からまれ！起業家たち
開 催 日	2016年8月27日（土曜日）
会 場	中京大学 名古屋キャンパス0号館センタービル「ヤマテホール」 愛知県名古屋市昭和区八事本町 101-2
主 催	第27回全国大会実行委員会 日本企画計画学会名古屋支部、日本企画計画学会本部
響 催	日本企画計画学会東京支部、北海道支部、沖縄支部、 BTセンター本部、創業デザイン研究会

プログラム

9:30-10:00	受付 名古屋キャンパス0号館センタービル「ヤマテホール」ロビー	
9:55-10:00	事務連絡	
10:00-10:05	開会挨拶	大会委員長 名古屋支部長 福田隆司
10:05-10:45	基調講演 飛び出せ起業家！！ …トヨタは、改善のみで世界に雄飛したか？	日比野省三（日本企画計画学会会長、 中京大学名誉教授、学術博士）
10:50-11:00	ポスターセッション ポスターセッションの目的と意義について	司会進行 名古屋副支部長 今井 健
11:00-12:00	各ポスターのプレゼンテーションと質疑応答	
12:00-13:00	休憩 ・ ポスター交流セッション	(日本企画計画学会会員はこの間総会)
12:30-14:00	ポスター交流セッション	コメンテーター IAI ジャパン 江田 實 伊藤ハム米久ホールディングス 池村昌人
14:00-14:10	休 憩	
14:10-16:10	研究及び実践発表	
16:10-16:20	休 憩	
16:20-17:20	ブレイクスルー思考・対談 起業家へのヒント：トヨタの秘話	司会 名古屋工業大学大学院教授 藤田素弘 対談 日本企画計画学会会長 日比野省三 元トヨタ自動車専務取締役 野口紘一郎
17:20-17:30	閉会挨拶	名古屋副支部長 今井 健
18:00-20:00	響創懇親会「中京大学構内レストラン」	名古屋支部 平尾高之

(敬称略)

◆中京大学名古屋キャンパスへのアクセス

地下鉄環状線、又は鶴舞線「八事」駅にて下車。

※ 駐車スペースはございませんので必ず公共の交通機関をご利用ください

◆昼食につきまして

会場内飲食禁止のため、構内レストランでの食事をお願いします。

当日、夏休中ですが、営業を行なっています。

ポスターセッション発表者

No.		発表者	発表者	テーマ	
1	A	名古屋支部 ・創業デザイン研究会	加藤（裕）尾碕・太田・佐藤 加藤（巨）	駆け込み寺（平日版） 同上（土日版）	E
2	B	東京支部	松永謙治	ブレイクスルー思考によるリーダーシップ開発 （東京支部BTTフェアの展開例）	I
3	C	アテ化デジタルコンサル・ 北海道支部	溝淵・青山・北守	北海道のマーケティング・ブレイクスルー	E
4	A	テックワークス 北海道支部	鈴木卓真	TED×SAPPORO 発信による創造都市札幌	E
5	B	ペッパー研究会	加藤 仁	ペッパーによるBTTファシリーター	I
6	C	名古屋市役所	加藤・尾碕・太田・佐藤	BTTを使った土木行政	I
7	A	名古屋市役所	平尾高之	職員サロン	I
8	B	NPO 法人 ひと・まち・これから	佐治真紀	広がれ！きらめ樹の輪	E
9	C	にわとりの会	丹羽典子	音の出る漢字カードと多文化共生	I
10	A	スタートアップくわな	中村浩三	桑名インキュベーションセンター構想	E
11	B	べじこ	坂井洋子	マンガでレポートします	I
12	C	農業	鈴木直樹	つくる農から育つ農へ	E
13	A	放課後等デイサービスはびりす	鹿野昭幸	こどもたちが世界を変える	I
14	B	バイオリズムセンター	平瀬守久	創業以来の継続と変革	I
15	C	名古屋工業大学	高山・藤田・小杉	BTTによる防災ワークショップ企画	I
16	A	センシリティ	川上慎太郎	運動薬・気持薬	I
17	B	Gハイカ研究会	三輪・多湖	グローバルハイパーイノベティブコンサルタント研究	E
18	B	ビジネスデザイン	犬飼 誠	業務用酒販卸業のブランディング	E
19	C	e-oriental banquet	長谷川研二		E

（敬称略 順不同）

研究発表会

	研究・実践発表 ヤマテホール		
	会場コーディネーター 日本企画計画学会 福田隆司		
14:10～ 14:30	新しい事業を始めるということ-企業内、企業外-	IAI ジャパン代表	江田 實
14:30～ 14:50	イノベーションを導く共新化－REQ による考察－	札幌大学	青山ゆう子
14:50～ 15:10	起業の要	名古屋大学名誉教授 メジエップ株式会社代表	山口勝美
15:10～ 15:30	「知創発サロンの企画・実施は結果 BT 思考エンジンが稼働していた」	知創発サロン代表	加藤雄三
15:30～ 16:10	「稲作農業の事業化について」	竹田竹炭米研究会会長	阿南修平

発表報告要旨

「新しい事業を始めるということ-企業内、企業外-」	IAI ジャパン 江田 實
<p>起業の意義は「目的展開」で、起業の仕組みは「システムマトリックス」で考え抜くことが誰にでもやれることなので、最も実行に移しやすいこととなる。</p> <p>本講では、このことを、状況を整理しながら、納得していただくよう話したい</p>	
「イノベーションを導く共新化－REQ による考察－」	札幌大学 青山ゆう子
<p>市場での優位性を獲得することは企業にとって重要な課題である。企業間での競争は、スピードが一層求められ、それにより共進化が導かれイノベーションにつながると言われており、これをレッドクイーンエフェクトと呼ばれている。本発表では、レッドクイーンエフェクトによる、共進化とイノベーションの関係について述べる。</p>	
「起業の要」	名古屋大学名誉教授 山口勝美
<p>自ら関わった「ファイバー砥石」のビジネスと「メタルジェットビジネス」について、技術とビジネスの両方のブレイクスルーについて話し、この経験から得た大学人と企業人のカルチャーの違いについて言及する。</p>	
「知創発サロンの企画・実施は結果 BT 思考エンジンが稼働していた」	知創発サロン代表 加藤雄三
<p>初めに・ 創発は一人の経営コンサルタント(診断士)の悩みから 次に・ 各種専門家の限界を感じた (時代の変化即応に無能力を露呈) そして・ 知識+創発=知創発の仕組みづくりに進化</p>	
「竹田竹炭米のブランド化」	竹田竹炭米研究会会長 阿南修平
<p>前年発表した「岐路に立つ日本の農業」の継続版として、農業実践活動の発表を通じて、地方の人口減少、高齢化社会、限界村の拡大、農山村の荒廃化、地方創生・活性化をどのように考えるか、プレゼンおよび意見交換を行う</p>	

(研究発表者、敬称略)